

持経宿改築前の事前作業(部材・道具・砂・バラス運搬など)

◇実施日：平成27年6月13日(土) 晴後曇

◇参加者：木下嘉彦棟梁、大工・浦東 進、山上皓一郎、川島 功、
豊嶋 寛、根木俊明、沖崎吉信、児嶋道夫、生熊敏男、
畑林秀味、橋本 梓、竹中佐一、梶野照雄。 計13名。

沖崎宅に7時半に豊嶋、畑林、橋本、川島、児嶋、生熊、根木
竹中氏が集結し、沖崎・川島車で棟梁作業場(大島建築)へ。

木下棟梁、浦東さんは、三輪崎で2屯ダンプ2台をレンタルし、
棟梁運転車には、砂・バラス各1屯が積載済でその上に前回サッ
シ屋に加工依頼した入口戸(上ガラスが上下共アルミ板)を載せる。
浦東車に垂木、窓台、破風板・軒桁などの部材と、特別仕様の
屋根トタン(長さ4m、厚さ通常0.25→0.4mm)を積込む。

トタンは2枚持っても重く、片方の端を二人で持ち、擦って傷
が付かない様に注意して積込む。

児嶋車には、大小脚立は約10脚、各種コースレットや釘類、
楔類、削岩機などの工具類を積込む。



部材とトタン積込み

児嶋車積込みに後進中

積込みを終えた児嶋車

前回より、砂・バラス積載の棟梁運転車以外は、軽めになり、
8時10頃には積込が完了。

棟梁車に山上さん、浦東車に畑林氏、児嶋車に生熊氏が同乗し、
初参加の沖崎氏の先輩・竹中さん達6人は、沖崎・川島車に分乗、
熊野市飛鳥のサークルKにて合流を打合せ各車出発。

山上さんは、南側(不動堂側)に石積み作業をするために、セミ
プロの根木・生熊さんに参加要請して快諾して馳せ参じて下さる。
白谷トンネルを抜けて土砂止めされた支谷で、石積用の石を拾
って、約30個を棟梁車に積込んだ。

白谷林道口のトチノキ広場にて、待機していた梶野車と合流。
白谷林道ゲートの鍵は、工事車両、間伐材作業車が入りして
いる様で、ゲートは閉じられているが鍵がかかっていない。

途中、4km地点の間伐材搬出作業中のため、しばらく待ち11
時過ぎに持経宿に着く。

早速、部材を運ぶ、一方でトタン置場は、棟梁の指示で不動堂
前に立木と片方に角材を立て、高さ約1mにリングを番線で固定
して造る。部材を載せその上に屋根トタンを置いた。



浦東車の部材荷降ろし

長尺屋根トタン置場

砂・バラス積載のダンプがバックで不動堂前へ。途中積込んだ
石積み用石を手渡しで降ろす。砂・バラスは、降ろす前に土嚢袋
に袋詰しないと混ざるぞ・・・棟梁荷台を上げる！なんと上手

く分けて降ろされた。土嚢袋詰めする事になるが12時前であり昼食とする。



荷降ろし

石積石の手渡し運搬

砂・バラス荷降ろし

昼食を終えると程なく山上さんは、率先して石積み作業するぞ！のかけ声。



昼食・談笑中

石積み作業は、山上、根木、生熊さん、児嶋氏はバッテリーでLED点灯作業、その他の者は、砂とバラスを土嚢袋に詰めて不動堂横に運搬。重いので一杯詰めず作業していると、棟梁から袋が足りんから一杯詰める！の指示、一人で大変だと運ぶ。略、袋詰めが終わる頃に石積みの生コン煉りが始まり、豊嶋氏

等が加勢。

棟梁・浦東さんは、入口戸サッシ枠のコンクリートのハツリに発電機を廻して削岩機で行う。発電機は、以前行仙宿から降ろして川島が保管していた物で、児嶋さんが整備点検した発電機である。この発電機により電動工具が使える様になる。

棟梁から腐朽外板壁、内側細工物・掲示物を外す作業する様にと指示があり、浦東さんのアドバイスの下で沖崎、畑林、竹中、川島が作業する。

内側のベニヤ板に墨書された西行法師の歌・摩絵図も剥ぐが、強度不足でバラバラになるが、繋ぎ寄せ後世に残すために写真に撮る。



砂・バラスの袋詰 小屋南側の石積作業中 西行法師の歌と摩絵図

煤けとシミで読みづらいが、**西行法師の歌**・篠の宿にて 庵さす草の枕にもなないて 笹の露にも宿る月かな 峯わたるあらしはげしき山かな 添しく聞ゆる滝の水。・小池と申す宿にて いかにして梢のひまをもとめえて 小池に今宵月のすむらむ・千種の岳にて わけてゆく色のみならず梢さへ 千ぐさの岳は心そみけり。・三重の滝を拝みて 身につもる言も糸の罪あらわれて 心すみぬるみかさの滝。の墨書。絵図は椽の鼻から持経宿迄の靡が色付きで書かれていた。外板壁は、大パールで剥ぐが、腐朽で強度不足と釘が錆びて、

上手く剥がせず折れたり、割れたりして殆んど釘が抜けず残る。
この釘を1本ずつ抜き取る、内壁の薄いベニヤ板のみが残る。



腐朽の外板壁撤去中 外板壁撤去 外板壁撤去と石積作業

雨水の流れ防止に北側にブロックを積むための穴堀をする。大きな根は一部鋸で切除くが更に太い根があり、浦東さんヨキで切ろうと！階下の資材置場からヨキを持ってくる、最後の仕上げは浦東さん。

ブロック3枚2段積みみの生コン煉り、半分はバラス多目のブロック下の捨てコン用、半分はつなぎ用に煉る。一応、下に横筋と縦筋を入れ、1mのレベルで棟梁が仕上げて下さる。

14時半、児嶋さんは橋本さん差入れのドリッポコーヒーを入れて下さり、児嶋さんのパイ、川島の芋羊羹で休憩する。

休憩後、石積みみの生コン煉りが2回煉られ、端をコテで仕上げる。未完であるが15時半になり、小雨が降り出し部材のシート被せ、道具を片付けて作業終了。

多くの参加者があり、想定外のブロック積・石積みが出来た。持経宿15時40分発、間伐材作業は終えていた。

白谷林道口で棟梁・浦東車は熊野市経由、小森の家に寄る児嶋車、梶野車と別れ、沖崎・川島車は上葛川経由で帰新する。新宮に近づく頃から小雨が降り出し17時40分無難に帰新した。



ブロック積用生コン煉り 石積・セメン塗り 作業終了・全員集合！

行動タイム

6月13日(土)

新宮(沖崎宅)7:35→7:45 棟梁作業場↓部材・道具積込8:10↓棟梁作業場8:15↓浦向経由→10:15 白谷林道ゲート→11:05 持経宿↓部材・砂・バラス荷降ろし→11:50 昼食 12:30→砂バラス袋詰・南側石積・北側ブロック積→14:30 休憩 14:45↓石積・後片付け 15:30↓持経宿 15:40↓白谷林道ゲート 16:15→上葛川集落↓田戸 17:00→17:50 新宮。

(記 川島、写真一部：梶野)